

教育目標 よい頭 よい躰 強い体

どの子ども輝き  
笑顔いっぱい

# とね幼だより

夏のよう  
燃える心で



令和5年9月

## 子どもの夢 身の程知らずの桁違い いつか世界へ

園長 笛木 哲

温暖化という言葉に慣れてしまった今日この頃ですが、今年の夏の暑さは格別でした。真っ赤にふくれた顔に汗をいっぱいためて、「とろけちゃーう」と叫ぶ子を真夏の太陽が容赦なく照りつけました。でも、夏期登園で久しぶりに再会した子ども達は、夏の暑さに負けず、一回りも二回りも大きく（体だけでなく心も）なっていました。



夏の甲子園では、白球を追い、ユニホームを泥だらけにしたひたむきで、純粋な高校球児の姿にたくさんの感動をいただきました。データ（平成以降の大会）によると、8回裏の得点をもっとも多く、次が9回表ということです。今年も、終盤の逆転劇で、歓喜し、涙する若者の姿を何度も見ました。それは、疲れだけでなく、勝ちを急いでの四球や失策、勢いづいてのつるべ打ちなど、若さ故の心の振れがあるからでしょうか。

先日、平田喜久代さんという方の記事を読みました。出産時に、脳にダメージを受け、重い手足のまひと言語障害が残ります。平田さんは、12歳まで自宅で過ごし、それ以来、病院暮らしが続きます。40代で自発呼吸ができず、言葉を発することも外出も難しくなりました。平成21年、長崎県教委の配慮で、特別支援学校への入学が決まります。53歳、寝たきりの小学6年生の誕生です。しかし、入学を間近にして、骨粗しょう症で左大腿骨を骨折し、大手術を受けます。術後の痛みにも苦しみますが、病状から命が危険になるため、痛み止めは打てません。「学校で授業を受けたい。死にたくない」。その思いを胸に苦しさにじっと耐えたそうです。そして、入学の日「おばちゃまですけど私小学生です。ずっと昔から学校に行ってみたかったから、何とかわれてうれしいです」「何かする事があるというのは幸福な事なんだ。学校以外の時も、いつでもどこでも勉強しよっと。勉強頑張ります」とおっしゃったそうです。



平田さんの夢は、子どもたちに「勉強ができることはうれしいことなんだよ。幸せなことなんだよ。死んだりすることはもったいなか。体は元気に。」という想いを自分の言葉で伝えることだそうです。（参考資料…NHK：ハートネットTV 西日本新聞：青空あなたの物語）

高校球児や平田さんのように、様々な苦労や困難があっても喜々として挑戦し、夢に向かって突き進む、そんな子を育てたいと思います。いつか、このとねがわ幼稚園から、私たちの想像も及ばない、桁違いの夢をもって世界で活躍する子どもが誕生することを心から願います。

## お知らせ

9月1日からさくらんぼ教室がちゅうりっぷ組の教室になります。そのため、朝さくらんぼをご利用の方は、多目的室（さくらんぼ教室隣り・管理棟南端）でお預かりします。放課後のさくらんぼは、いつも通りさくらんぼ教室へお迎えに来てください。

## 新しいお友だち

9月1日からちゅうりっぷ組に町田雪帆(ゆきほ)さん、林綺音(あおと)くん、小林滯(みお)さん、荒木紀(こと)さんの4名が仲間入りします。どうぞよろしくお願ひします。

## お別れしたお友だち

7月31日をもって、ふじ組 北村そうたくん、ひまわり組 大河内かおさんの二人が、別の幼稚園に転園しました。遠く離れてしまいましたが、ずっと友だちです

## 運転手の交代について

梅本剛運転手が一身上の都合により退職しました。新しく赤・ピンクバスを山本仁志運転手が運行します。安全に留意して運転すると共に、給食配膳、環境整備など園内の業務にも携わります。どうぞよろしくお願ひします。

## 認定こども園 入園までの流れ等

\*町…子育て支援課

9月13日(水)	在園児保護者	幼稚園説明会 10:00~
9月16日(土)	入園希望保護者	幼稚園説明会 10:00~
10/ 1~10/31	1号	入園願書配布(園)
	2・3号	入園申請書配布(園・町)
11月 1日(水)	1号	願書受付・面接(園)
11/1 ~11/24	2・3号	入園申請書(園・町)
11月20日(月)	1号	制服採寸(園)
12月 9日(土)	2・3号	面接・採寸(園)
2月 2日(金)	1号	入園説明会 10:00~
2月24日(土)	2・3号	入園説明会 10:00~

- ・認定こども園は、保育所のように長時間預けることができ、幼稚園のように教育を受けることのできる施設です。
- ・認定された区分によって施設を利用できる時間や利用料金が変わってきます。詳しくは、幼稚園説明会でお知らせします。

## 肝心なことは目では見えないんだよ。心で見なくちゃ……

ハサミで紙を切っているとき、紙を押さえている自分の指をハサミで挟んでしまった子がいます。当然「痛い！」と声を上げました。自分の指を自分で使っているハサミで挟むと、その痛みでハサミを握る指は反対方向に引き戻されます。それは、痛みが分かるからです。もし、友だちの指をハサミで挟んでしまったらどうでしょう。友だちの痛みを実感することはできません。痛みを実感できないから、ハサミをもつ指の力を強めて、友だちの指を深く傷つけてしまうかもしれません。

自分の痛みは幼稚園児でも分かります。でも、自分の外にあるものの痛みは、想像するしかありません。その力が育つことが、人間が成長するということです。自分の外にあるものの痛みを想像できる力を育むことは、たくさんの知識を詰め込むより、もっと大切なことだと私は思います。そういう力を、とねがわ幼稚園は様々な体験(失敗体験も含めて)や友だちとの交流(喧嘩も含めて)を通して育みます。

